

城下町松代の水路システム：
武家屋敷の生活用水として敷地内をつなぐカワ・セギ・泉水路のネットワーク



撮影：2011年10月（長野市松代町）

◆松代の庭園の特徴は、観賞用の大名庭園とは異なり、日常の暮らしと密着した「生活の庭」であることです。泉水池の岩組みなどは質素で、食用としての鯉を放して洗い場や飲料水などにも使いました。庭の池を結ぶ泉水路が家々まで入りこむ“山水都市”が形成されていることがうかがえます。

※カワ：町内の道路沿いの水路、セギ：背割り線沿いを流れる灌漑用水路、泉水路：各戸の庭の池をむすぶ水路

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN会員）